

No.594

2024.3.18

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th





第39回金属団地ボウリング大会開催

1月21日(日)、岐阜市茜部のACグランドにて第39回金属団地ボウリング大会が行われました。15チーム56名の参加を得ることができ、皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。



定刻の9時半となり、山村労務委員長ご挨拶のあとゲーム開始。昨年と比べ参加者は微増、外国人の参加者も多く、ストライクやスペアをとって大いに盛り上がっている姿は微笑ましくも感じました。

プレイ後は表彰式に移り、個人戦の飛び賞、上位入賞者、団体上位チームが発表され労務委員長より一人一人に賞品が贈られあたたかな拍手とともに閉会いたしました。

各結果は以下のとおりです。参加された皆様お疲れ様でした。

このボウリング大会は金属団地の組合員企業に雇用されている方とそのご家族であればどなたでも参加できます。来年は第40回の記念大会となる予定です。日頃の運動不足解消や親睦のきっかけに是非ご活用ください。

☆個人戦

優勝	広瀬 隼(ホラタ、工業)	516点
準優勝	前田 弘彦(杉山)	512点
3位	森田 吉久(金属団地役員)	486点
4位	真喜 芳広(ホラタ、工業)	471点
5位	山村 容弘(金属団地役員)	469点
6位	吉田 恭平(ホラタ、工業)	455点
7位	加藤 清隆(ホラタ、工業)	446点
8位	林 敏幸(金属団地役員)	446点
9位	藤澤 利光(ホラタ、工業)	439点
10位	佐々木 宏(ホラタ、工業)	424点



☆団体戦(1チーム4名×3ゲームの合計)

優勝	金属団地役員A	1700点
準優勝	ホラタ、工業E	1686点
3位	金属団地役員B	1620点
4位	ホラタ、工業A	1588点
5位	ホラタ、工業D	1558点



2月度月例会開催

2月19日(月)正午より組合研修センター3階集会室にて2月度月例会を開催しました。

昨今、ワークライフバランス、働き方改革などが企業に求められている一方で、人手不足、コンプライアンスなどの渦中の問題と、どう両立していくのかについて、特定社会保険労務士の吉岡かおり様をお招きして『長時間労働の是正～生産性向上ポイントの確認～』と題して、労働基準法、安全、生産性向上などについて具体例や数字を交えてお話していただきました。



ぎふ働き方改革推進支援センターでは、働き方改革、人手不足、活用可能な助成金など企業運営していく中での悩み、疑問について無料相談を行っておりますので、一度ホームページ等を拝見されてはいかがでしょうか。

ぎふ働き方改革推進支援センター



青年部コーナー

ボウリング大会

1月21日金属団地ボウリング大会に青年部から参加させて頂きました。当日は体調不良のメンバーもいたため、急遽事務局に参加してもらいましたが、残念ながら団体戦には参加出来ませんでした。個人戦はどうかというと、入賞でも最下位でもなく何とも中途半端な結果に……。ただ、個人的には学生時代にラウンドワンで遊んで以来、約15年ぶりのボウリング。スコアが100も出せないのではないかと不安の中プレーしましたが、意外に体が覚えているものでぼちぼちの結果に。あの頃との大きな違いは、ぎっくり腰になりませんようにと願いながら投げることだけでした。青年部も若いメンバーが増えていますので、若手のパワーで来年は入賞を目指したいものです。





疑うこと

今年の1月末に両親二人を介護施設に入所させた。父親はここ4~5年母親は1~2年体力低下が著しく、要介護認定も受けデイサービスやショートステイ利用で凌いできたが家族介護も限界に近づいたの判断である。大酒飲みで喫煙者の父親の方がゴネるかと思いきや、母親の方が聞きわけが無かったのは意外であった。歳をとると現状維持の方が精神的に楽で「死ぬまで自宅で過ごしたい!」らしい。

能登半島地震の報道を見ている高齢者の方が口を揃えてこうおっしゃっていたのは実感として理解出来る。独りで生きていけるのなら好きにすれば良いのだが、残念ながら誰も1人では生きられない。周りの手助けや介助が必要な場合、多くは個人のわがままになっている事に本人は気が付かない。過疎地での復興作業は時間的に難しい展開が予想されるが、復興が終わった時に住人が誰もいない…とはならないよう迅速な判断が必要だと思う。

最近、両親が使っていた和室2間の整理を始めた。介護用品を捨て、タンスの中身を整理し処分。次は汚れた畳や襖交換か…で気が付いたのが「仏壇や祖父母の遺影どうする？」だった。子供の頃からあって当たり前のものであったから処分方法など考えた事も無かった。墓じまいも考えないといけない。父親は何もやらなかったが、仏壇や墓を処分する事など疑った事すらなかっただろう。タイムリーな事に実家継いで苦勞しているお客さんの話も聞いた。田舎の実家は売れず貸せずで、固定資産税に火災保険、修繕や草刈り等で金食い虫状態らしい。実際、毎年維持費に数十万円かかるとの事。2038年には、国内の空き家総数は2300万戸になるとの予測もあるなか、他人事とは思えない。2023年の出生数は76万人、新設住宅着工戸数は85万件。小学生でも計算出来る。中国の不動産状況を笑って見ている場合ではないが、今後は**負動産**処分に困る人が激増する。個人的には歳をとったら平屋を建てて住むのが理想だと思っていたが、駅近マンションに住んで最後は介護施設へ行くのが子供孝行になるのは間違いない。

つくづく思うが、寿命が知れたらどんなに楽な事だろう。そこへ向かって計画的な人生が送れる…？嘘です！そんなわけ無い。他人の寿命はともかく、自分の寿命が分かってしまったらそこへ向かって絶望の日々が始まる。分からないから希望が持てるし楽しい日々が送れていると思う。私たちは未来を知ることはできない。物事がどうなるかをコントロールすることもできない。他人と過去も変える事はできないが、自分と未来は変える事ができる。それは他人と過去で出来ているのだが…

永六輔さんの言葉に「人間、今が一番若いんだよ。明日より今日の方が若いんだから。いつだって、その人にとって今が一番若いんだよ」というのがある。やりたい事があればこれから先の人生においていちばん若い今日から始めるくらいじゃないといけない。明日は生きていられる保証もないし(笑)何にしても「まず、疑うこと！」から初めてみようと思う。それは本当に必要なのだろうか？経験や常識に捕らわれた日常を送っていないだろうか？ステレオタイプの考え方になり、どちらかの方向で完全に固まった感情で行動してはいないだろうか？歳をとると疑うのは難しいんだけどね。

昔、編集委員会でK.T氏が「歳をとると、訃報ネタや病気ネタばかりで申し訳ない…」とよく言われていた。ふいごのネタは心の鏡。思いの強さが文章へと成る。

今日は2月21日の誕生日！私も54歳になりました。もうなのか…まだなのか…？

赤い彗星も地に墜ちたものだな！

赤い彗星



私の休日

株式会社 山村製作所
山村 容弘

金属団地ニュース編集委員会より、「私の休日」についての原稿依頼を頂き、自分の休日について、過去に遡ってみました。

会社に入社したての20代前半から中盤のころ、世の中はバブル景気が始まり[24時間戦えますか状態]毎日夜中まで仕事(日本中がブラック企業)をしていました。

当社の休日は日曜日しかなかった(祝日も出勤日でした)。

土曜日の夜は毎週飲みに行つてストレスを発散していたため、休日はほとんど二日酔いで昼過ぎまで苦しんで一日が終わり、月曜日からはまた、24時間戦っていました。

20代も中盤を過ぎたあたりから、ゴルフが楽しくなりました。

このあたりから、第3土曜日が休日となり(依然として祝日は出勤日のまま)土曜日が休日の日は、午前中休日出勤、午後からゴルフ、夜は飲み会、日曜日は再びゴルフと自分勝手な休日を満喫していました。

30代中盤で結婚が出来ました。3人の子供を授かり、休日は家族と過ごすことが多くなりました。(家族旅行、子供たちのスポ少への送迎が「私の休日」であり、リラックスできる時間でした。)

50代になり、子供たちのスポ少、部活の送迎が終わり、「私の休日」はまた、変化しました。

会社の休日は、働き方改革のおかげで、どんどん多くなり年間100日越えとなりました。そのころから、休日の朝、決まって囁かれた言葉があります。

『容弘。今日は会社行くんか?』そうです父親に休日の朝、毎回囁かれました。

その言葉を聞くと非常に不愉快になり、語気を荒げて『今日は休日だから会社には、行かない』と返事をしていましたが、今は、その言葉も聞くことは無くなりました。

50代後半となった今、休日の朝、奥さんに囁く言葉があります。

『ちょっと、会社見てくる』奥さんには耳障りな言葉かもしれませんが、なぜか、「私の休日」に含まれる行動となってしまいました。



追伸、私には癒される「私の休日」があります。

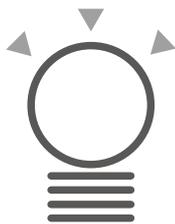
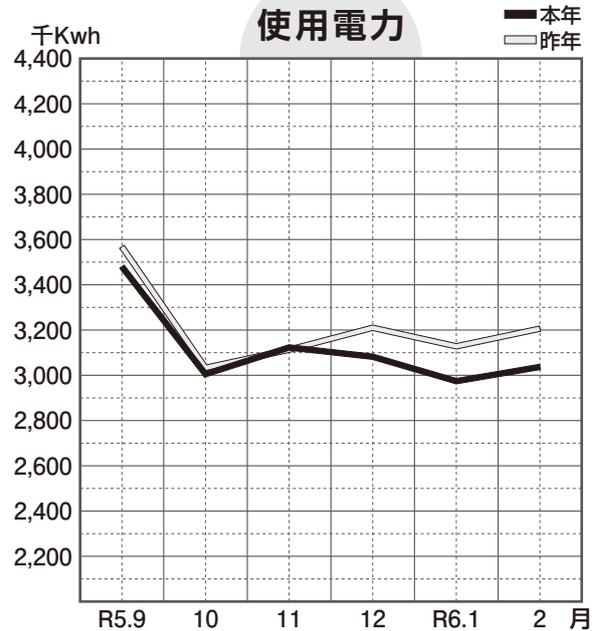
それはコガネメキシコインコ(現在12歳)と遊ぶことです。

手乗りなので、日中は部屋の中を飛び回り、私がテレビを見ていると肩に乗って寛ぎます。

これが、今の私の休日のリラックスタイムです。



令和6年2月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

なぜ50Hzと60Hzに分かれているの？

我々がコンセントから使用している交流電気には、「50Hz」と「60Hz」という周波数の違う電気がある。世界のほとんどの国では、50Hzもしくは60Hzのどちらかに統一されている。ではなぜ、日本には2つの周波数が混在しているのか？

日本で電気を使用されるようになったのは、明治時代に入ってからのこと。電気を発電するために使用された発電機は外国から輸入され、東京は「ドイツ製」、大阪は「アメリカ製」の発電機であった。ところが、ドイツ製は50Hzに対して、アメリカ製は60Hzの異なる周波数の電気を発電していた。やがて、東京、大阪で50Hzと60Hzという異なる周波数の電気が多く作られ、そのまま全国へ普及してしまったのである。

現在、様々な電化製品が存在するが、周波数の違いによって電化製品が、「そのまま使用出来るもの」、「一部性能が変わるもの」、「使用できないもの」が存在するため注意が必要である。

行事予定

2024 **3** March

16 土	青年部親睦旅行(～17日) 『組合休日』
17 日	
18 月	月例会(12:00～) 役員会(13:30～)
19 火	
20 水	『春分の日』 『組合休日』
21 木	編集委員会(12:00～)
22 金	
23 土	団地G 『組合休日』
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	『組合休日』
31 日	

2024 **4** April

1 月	
2 火	
3 水	新入社員激励会
4 木	
5 金	
6 土	遠征G(～7日) 『組合休日』
7 日	
8 月	
9 火	
10 水	
11 木	
12 金	
13 土	『組合休日』
14 日	
15 月	月例会(12:00～) 役員会(12:30～)

■ 5月の行事予定

5月24日 定時総会・総会懇親会
5月25日 総会記念ゴルフ

■ 2月度金属団地ゴルフ会

2月24日 各務原カントリー倶楽部
優勝 森田吉久(テクノ共栄) 2位 三島基成(三島精器) 3位 秋田隼輔(秋田鉄工)



G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

